

# 世界に誇れる極上の会津米づくり

## 「目指そう 今年も特A 会津コシ1等米 100%」 両沼地方米づくり情報 第4号 平成27年7月17日

発行：JA会津みどり営農部・各総合支店、会津坂下農業普及所・金山普及所

- 7月18日～8月17日の1ヶ月予報（仙台管区气象台7月16日発表）
  - 気温：1週目、2週目は平年より高く、3週日以降は平年並みの見込みです。
  - 降水量：平年よりも少ない見込みです。

### 2 イネの生育

#### (1) 水稻の生育調査の結果について

茎数は平年よりも多く、葉齢は平年より3日程度進んでいます。また、移植栽培の水稻では幼穂形成が始まっています。会津平坦地のひとめぼれは8月3日頃、コシヒカリは8月8日頃出穂の見込みです。また、中山間地のひとめぼれは8月7日頃出穂の見込みです。

〔表1〕水稻作柄概況解析試験の生育データ

品種 移植日	年次	草丈 (cm)	茎数 (本/m <sup>2</sup> )	葉数 (枚)
コシヒカリ	本年	69.8	696	11.8
	前年	69.9	680	11.9
	平年	72.0	598	10.5
5/20 移植	平年比	97%	116%	+0.3
ひとめぼれ	本年	66.2	748	11.7
	前年	64.8	690	11.7
	平年	67.4	660	11.4
5/20 移植	平年比	98%	113%	+0.3
天のつぶ	本年	65.7	710	11.1
	5/20 移植	前年	66.1	702

〔表2〕各品種の出穂予想日

町村	品種	出穂期 (本年予想)	出穂期 (平年)
会津美里町	コシヒカリ	8月8日	8月11日
湯川村	ひとめぼれ	8月3日	8月4日
昭和村	ひとめぼれ	8月7日	8月6日

(平成27年7月15日普及所調査)

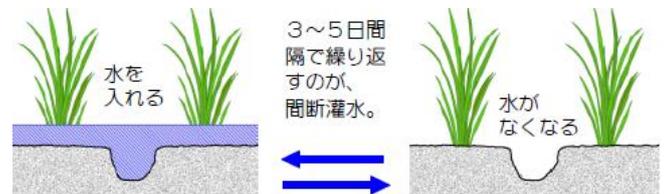
(平成27年7月14日 会津地域研究所実施)

### 3 今後の栽培管理

#### (1) 出穂前後の水管理

根に水と酸素を供給するために間断灌水を行ってください。

玄米が肥大するためには大量の水分が必要です。出穂後30日間は玄米は肥大するため、この期間は土を乾燥させないようにしてください。



#### (2) 出穂前後のフェーン害対策

台風が日本海側を通過すると、フェーン現象（高温・乾燥）が発生し、イネの水分が急激に蒸散し、脱水症状を起こします。気象情報を確認して、台風が日本海側を通過することが予想される場合は、湛水状態にしてフェーン害の影響を防ぎましょう。

#### (3) イネいもち病（穂いもち）対策

穂いもちは次のように防除してください。

- ①水面施用剤を使用する場合は、出穂前に下表の使用時期を参照して散布してください。
- ②散布剤を使用する場合は、穂ばらみ末期と穂揃い期の2回散布してください。

[表3] イネいもち病（穂いもち）に有効な主な薬剤

区分	薬剤名	使用時期	使用量	使用方法
水面施用剤	コラトップ粒剤5	出穂 15～10 日前	3～4kg/10a	湛水散布
	フジワン粒剤	出穂 30～10 日前	3～5kg/10a	湛水散布
散布剤	カスミン粉剤 DL	穂揃期まで	3～4kg/10a	散布
	ブラシン粉剤 DL	収穫 7 日前まで	3～4kg/10a	散布
	ビーム粉剤 DL	収穫 7 日前まで	3～4kg/10a	散布

(4) 斑点米カメムシ類対策

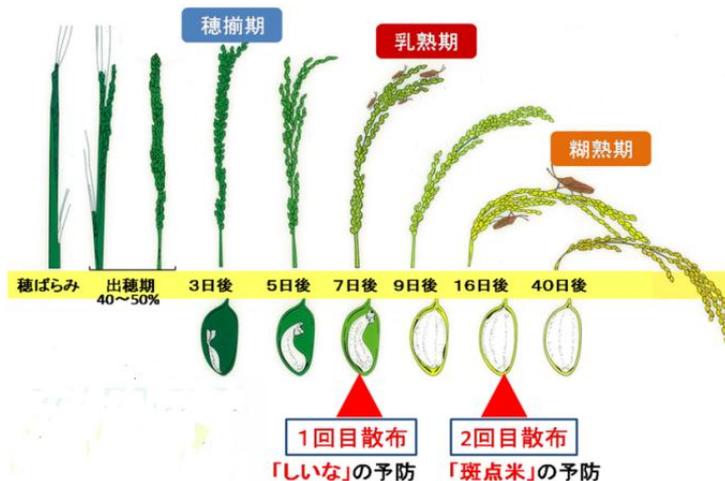
「斑点米カメムシ類の発生注意報」発令中!! (6月30日 福島県病害虫防除所)

今後、気温が平年より高い見込みのため、発生が多くなる可能性があります。適期に防除してください。

**〔散布剤の防除適期〕**

**1 回目：乳熟期**  
出穂期から 7～10 日後程度

**2 回目：糊熟期**  
出穂期から 14～17 日後程度

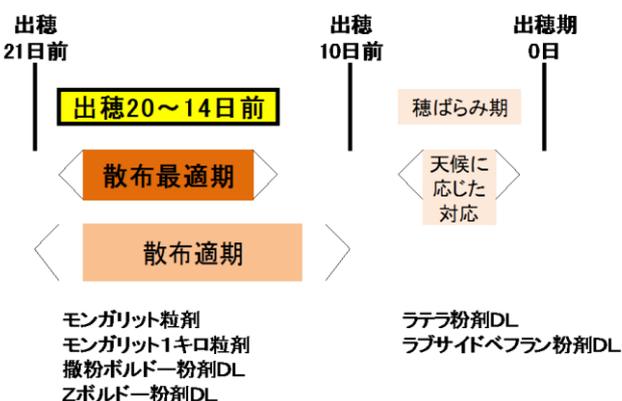


稲こうじ病の防除方法

(5) 稲こうじ病対策

稲こうじ病は土壌伝染性の病害であり、前年に多発したほ場は、ほ場に菌が多く残り次年も多発する傾向が見られます。

出穂 20～14 日前の防除効果が最も高いので、散布時期を逃さないように注意してください



(6) イネ紋枯病対策

イネ紋枯れ病は、梅雨の時期の気温が高いと発生しやすく、発生すると倒伏を助長します。イネの茎に紋枯病が発生している場合は、薬剤を使い防除してください。

[表4] イネ紋枯病に有効な主な薬剤

薬剤名	使用時期	使用量	使用方法	紋枯病以外の効果
イモチミン粒剤	出穂 28～14 日前	3kg/10a	湛水散布	いもち病
モンガリット粒剤	出穂 28～14 日前	3～4kg/10a	湛水散布	稲こうじ病

有機栽培や特別栽培など化学合成農薬の使用に制限のある栽培方法では、栽培基準(栽培計画)に基づき管理してください。また、気象条件等により病害虫の多発が予想される場合は、関係する団体・組織等にご相談ください。